

防災訓練での災害廃棄物処理訓練プログラムの計画・実施

愛媛県松山市

- 人口※ 498,614 人
- 自治会加入率 71%
- 実施時期 令和 2 年度

※令和 6 年 12 月 10 日時点自治体ホームページ掲載情報

取組むことになったきっかけ

松山市総合防災訓練では、ごみ収集車による回収のデモンストレーションを実施していましたが、令和 2 年度から、簡易な仮置場を設置して、住民が災害ごみの分別を体験するかたちになりました。

取組内容

市の総合防災訓練の中の一プログラムとして実施されました。まず、災害廃棄物の簡易な仮置場を設定し、クリーンセンターから調達した粗大ごみを災害ごみとして用いました。次に、住民に災害ごみを分別してもらい、分別されたごみを所定の場所まで住民同士が協力しながら運びました。最後に、職員が、パッカー車へ積み込みを行うという本プログラムは10分間で行われました。

訓練には市長、ほか 71 機関、団体、市民など 2,000人程度（令和 5 年度）が参加しました。災害廃棄物処理訓練にも災害ボランティアや市民団体、自治会・町内会、消防団の方々が参加し、災害時のごみの様子を知り、分別の重要性を理解する機会となっています。

災害廃棄物処理、防疫訓練では災害廃棄物を収集して感染症防止のため、消毒を実施します。

- 〈令和 5 年度のプログラム〉（9：00～11：10）
- ・地震避難訓練
 - ・情報収集訓練
 - ・避難所開設運営訓練、福祉避難所開設運営訓練
 - ・がれきからの救出訓練、応急救護訓練
 - ・**災害廃棄物処理、防疫訓練**（9：55～10：05）
 - ・緊急支援物資輸送整理訓練
 - ・各種ライフライン復旧訓練
 - ・消火、救出、救護訓練
 - ・緊急支援物資（医薬品）搬送訓練
 - ・ヘリコプター吊上救助訓練



災害廃棄物処理訓練の様子
住民が運搬して分別します。仮置場に置かれた災害ごみを職員が積み込み処理をします。

自治体の声

仮置場を想定した訓練で、排出するごみの種類を記載した看板を準備しておくことで、災害時にも対応できることが見込めましたが、大規模災害の場合に看板が不足する可能性があります。そのため、住民の理解と協力が大切で、災害廃棄物処理訓練も毎年継続して実施しています。